

Photo sketch

9/5 ものづくりを体験 濃南中学校 多治見工業高校出前授業

濃南中学校の生徒が、多治見工業高校の生徒から「溶接」、「化学」、「デザイン」、「電気自動車」などの分野を学びました。初めて溶接を体験した中学生は、「実際にやってみると難しかったが、とても楽しかった。自分の将来を考える上でよい参考になったし、工業という分野に興味が湧いた」と振り返りました。



9/6 夏休みの成果が集結 夏の作品展

小中学生の夏休みの成果を展示する「児童生徒科学作品展」「発明くふう展」「社会科課題追求学習作品展」などがセラトピア土岐で開催されました。科学作品を見た方は、「子どもたちの努力の跡を感じた。どの作品も、取り組もうと思ったきっかけや抱いた疑問、自分の意見などが上手くまとめられていた」と感心していました。

9/16 収穫から学ぶ米作り 駄知小学校稲刈り体験

駄知小学校5年生が、5月に田植えをした田んぼで、稲刈りを体験しました。田んぼを管理する酒井さんから稲刈りのコツを教わった子どもたちは、縄切鎌で丁寧に稲を刈り取りました。子どもたちは稲刈りを振り返り、「鎌の使い方が難しかった」「米になるまで長い時間が必要とわかった」と話し、米作りの大変さを感じていました。



9/28 ついに公道へ 自動運転バスの実証運行を実施

自動運転サービスの社会実装を目指す「東濃地域自動運転推進コンソーシアム」の取り組みとして、市内で自動運転バスの実証運行が9月28日から10月11日まで実施されました。運行初日に市役所駐車場で行われた出発式で、加藤市長は「自動運転技術の導入をスタートできることは、未来への扉を開く第一歩になる」と話しました。

市ホームページ「ときめきの瞬間」(HP1005004)でも市内の出来事を紹介しています。